



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会「そら」編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

こぐま・いろくま・ゆう運動会

十月二十六日(日)晴天の中、「こぐま学園・ゆう・しろくま」の運動会を開催しました。運動会には総勢三〇〇人を超えるご家族の方に参加していただき、子ども達やご家族の笑顔や歓声が体育館いっぱいに溢れる一日となりました。

年長児さんによるオーブンシングセレモニーに始まり、各グループの特徴を生かした競技、今年初挑戦のお父さんダンスもとても印象的でした。各グループの競技では、アスレチックにお友だちと挑戦したり、お母さんやお父さんと一緒に触れ合いあそびを披露したりと、子ども達が伸び伸びと自分の力を思う存分に発揮されていたように思います。年中・年長児さんは、保護者の方と離れての競技。子ども達・保護者の方共にドキドキだった分、逞しい姿に涙涙の場面も見られました。

閉会式では、各グループにピカピカの金メダルが配られ、各グループスタッフが子ども達一人一人に贈呈。普段の療育の中で見せてくれる笑顔以上に、何倍にも輝いて見えたように思います。

お忙しい中、沢山の方々のご参加ご声援本当にありがとうございました。私達スタッフも子ども達の無限の可能性にパワーをもらえた一日となりました。

(児童指導員 牟田珠美)



外来
ひがしつみ たいき
東 堤 大輝くん

大輝は、平成十八年四月三日に生まれました。育児書や他の子と比べて発育が遅いと感じることはありましたが、個人差だとあまり気にしていませんでした。その一方で、出来るようになってきた事に關しては、完璧を求めて厳しく叱っていました。療育に通うきっかけは、幼稚園の三歳児対象の未就園児クラスに通っていた時、その先生から、「このまま幼稚園に入園するならば、付き添いをして欲しい」と言われたことでした。その当時の大輝は、自分のしたい事をし、行きたい所に行き、みんなと同じ行動をとることが出来ませんでした。まずは、市の療育センターに一年通い、その後こぐま学園を紹介され、広汎性発達障害だと診断されました。



「褒めましょう」よく聞く言葉ですが、一体どこを褒めたらいいのかわからず、自分が出来ると感じるレベルは大輝にとってどれだけハードルが高かったのか、療育風景を見て色々感じさせられました。

幼稚園の行き帰り、三年間毎日交通ルールを教えながら歩き、どうにか覚えられた事を、二歳違いの妹は、一年で出来てしまった。以前の私なら、その差にショックを受けて、大輝に対してさらに厳しくしていたかもしれせん。けれど今は、いつか出来る様になると希望を持って接することが出来ます。

来春から三年生。もう低学年という言葉で守ってもらえなくなってしまうと、焦る気持ちもありますが、長い目で見守っていききたいと思っています。

最後に、大輝の成長に必要なものは何なのかを思い出させてくれるこぐま学園に、感謝しています。

(東堤大輝の母)

こぐまLINE



相談支援専門員
おおはし みゆき
大橋 美由紀

皆さん、こんにちは。地域支援部で相談支援専門員をしております大橋美由紀です。

今回、LINEの担当になり何を書かせて頂くか色々と考えましたが、自己紹介をさせて頂こうと思います。

実は、二十数年前に児童指導員として入職させて頂き、今回二度目の入職で今年度が二年目になります。

私が、福祉の仕事に就きたいと思ったのは、母親や姉の存在があまりありません。八歳年上の姉には脳性麻痺の障害があり、五十年前には今ほど情報はなく、母親は何をどうしたら良いかわからず育てる中で、色々な人に相談したそうです。その中で福祉制度などに詳しい方に出会い、情報を得たり母の話を聴いたりしてもらい、本当に助かったと常々話していました。私は母親が大好きでしたし、姉の事も色々知りたいと思い、高校で今後の進路を考え調べる中、社会福祉士という資格にたどり着き、大学では社会福祉学部に進学しました。

大学卒業後、こぐま福祉会に入職させて頂き、沢山の子どもたちや保護者の方と関わらせて頂きました。療育に参加する中で、沢山の笑顔にパワーを頂きました。私はこぐまスタッフから伝わってくる「大丈夫だよ。一緒に考えましょう。」の気持ちや行動が大好きです。私自身日々勉強させて頂きました。

福祉制度が大きく変わった現在は、基本相談や福祉サービスを利用される方の計画相談に関わらせて頂いています。

二十年前より福祉サービスは増えましたが、まだニーズに沿った利用が十分とはいえない状況だと思っています。どんなサービスがあるのか、どんな利用が出来るのかを知らない方も沢山いらっしゃることを地域に出て行く中で感じています。私達相談支援専門員は、利用者や保護者の方の願いを、表だって言葉に出さない出せない思いを、どう感じ聞く事が出来るか、情報を提供し、繋いでいく事が出来るかだと思っています。

まだまだ私一人で、聞かせて頂いた事を解決出来るとは思いません。近くにいる沢山のこぐまスタッフや地域の事業所の方々等と日々繋がり、解決の方向へ少しずつでも進めるよう、努力していきたいと思っています。まだまだ未熟者ですが、どうぞ宜しくお願いします。

交流保育

こぐま福祉会では、療育の一環として幼稚園・保育園との交流保育を行っています。こぐまのお友だちはお母さんと一緒に地域の保育園や幼稚園に、月に一回のペースで保育に参加しています。今年は、私が担当している久留米天使幼稚園をはじめ五つの園にご協力を頂いています。

交流保育では地域での同年代の子ども同士の間を繋ぐ経験の中で、社会性を広げ、遊びの広がりや身の回りの事への取り組みのきっかけ作り等を目的としています。又、こぐまのお友だちと保護者、交流先のお友だちや先生・保護者の方々との交流保育の輪から、「みんなで地域で生きて行く為の協力関係」を生み出していければと考えています。

スタッフは交流先の先生と毎回子ども達の状況の確認を行って交流に臨んでいます。天使幼稚園では園の先生と子どもたちが元気に園庭を裸足で走り回っています。自分のクラスにきたお友だちの名前をすぐに覚えて呼んでくれたり、手をつないでくれたり、車いすを押してくれたり・・・とっても優しい子ども達で、いつもこぐまのお友だちが来るのを楽しみにしてくれています。そんな子ども達との関わりの中でこぐまの子ども達の新たな一面や表情を見る事ができます。今年もこの交流保育を通してたくさん笑顔が見れることを楽しみにしています。

(保育士 鎌田)



園での様子

保護者より

昨年から交流で天使幼稚園にお世話になっていきます。「ゆう」以外の集団経験がなく、初めは緊張と不安から教室を抜け出したり、イタズラをしたり・・・落ち込んで帰る日もあったのですが、優しいお友達や理解しようと接して下さる先生方に助けられ、少しずつ笑顔も増え、お友達との遊びの中でやり取りやお弁当の時のお喋りなども少しずつ見られるようになっていきました。回を重ねるうちに、自分もクラスの一員という気持ち芽生えていっているようにも見え、嬉しく思いました。

交流を通して、普段見られない表情や驚きが沢山あります。今年の交流は始まったばかりですが、出会いに感謝し、これからどんな発見が待っているのか、ドキドキしながらも楽しみにしていきたいと思っています。

Work Step 余暇活動

十月十一日(土)心地よい秋風の中、Work Stepでは毎年恒例のバーベキューを行いました。

余暇活動では、利用者の方々から分達でミーティングをし、計画を立てます。事前準備では食材の担当を決め、各自調べてきた価格で肉や野菜の量を決め、予算を計算し、前日には皆で買出しに出掛けました。

当日は、食材班と火おこし班に分かれ、食材班はパソコンで調べた切り方を食材に合わせて切り、火おこし班は悪戦苦闘の末、炭に火を点けることが出来ました。

後は食べるのみです。食材が焼けるまでに「もう焼けた？」の言葉が何回飛び交ったことでしょう。ワイワイがやがや、自分達で作ったバーベキューは最高！

最後のデザートまで食べて、皆お腹一杯になり大満足の余暇活動となりました。

(職業指導員 福嶋)



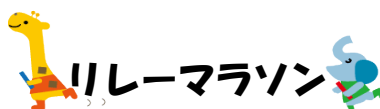
ふれあいコンサート

十月十四日(火)こぐま福祉会アリーナ棟にて、ふれあいコンサートを行いました。ギタリストの真辺雄一郎さんとボーカリストの今泉由香さんが、こぐま福祉会のお子様や、利用者の皆様の為に、開いてくださったものです。ギターの豊かな音色に加え澄んだ歌声で、ジブリやアナと雪の女王、ひよっこりひょうたん島など、沢山の歌を聴かせて頂きました。みんな、一緒に歌ったり、手拍子をしたり、うっとりしたりと思いいい思いに楽しい癒しの時間を満喫させて頂きました。本当にありがとうございます。お二人の益々のご活躍をお祈りしております。

(障害者支援部部长 横尾)



スタッフ活動報告



リレーマラソン



9月14日(日)、北九州市にて行われた「リレーマラソン大会」に18名のこぐまスタッフが出場しました。小倉競馬場を馬のようにグルグル周り 42.195km を走るとい大変貴重な体験をしてきました。競馬場という事で、足場が砂地であり、思うように前に進まず悪戦苦闘しましたが見事完走する事ができました。

スポーツの秋、子ども達に負けないようスタッフもしっかり体を動かしたいと思います。(マラソン部 木下)

カヌー大会



9月21日(日)、こぐまカヌー部は今年も「宝満川カヌー大会」に参加してきました。

昨年は、守り続けた地区対抗レースの王者の座から陥落し、リベンジに燃えるこぐまカヌー部は、衰えつつある体力を気力でカバーし、圧倒的な強さで王者に振り返りました！

親子で参加できるレースもあり、とても楽しい大会です。皆さんも参加されてはいかがでしょうか？

(カヌー部主将 田中亮)



地域支援だより

まじって

久留米市巡回相談支援事業
が始まります

平成二十六年十月より、久留米市幼児教育研究所の事業として「久留米市巡回相談支援事業」が開始されました。こぐま福祉会が久留米市より委託を受け巡回相談を担当することになりました。

日常の子ども達の生活の場である幼稚園・保育園に巡回に行き、実際の保育場面での行動を観察し、先生方と共に、子ども達が感じている困り感や子ども達の状況や対応・環境設定など、子ども達の声に出来ない部分を代弁して行ければと思います。

巡回終了後には、幼児教育研究所のスタッフの方へ報告し、協議をしながら子どもさんの支援をしていく様になります。

新しく始まる事業ではありますが、担当スタッフとして色々と模索しながら『子ども達が地域で育つ』ためのお手伝いが出来ればと思います。

(地域療育課 橋本)

自閉症スペクトラム障害を持つ
お子様の保護者向け学習会

自閉症スペクトラム障害を持つお子様の保護者向け学習会を行います。子どものよりよい理解、子育てのお役に立てるような学習会を計画しています。みなさま是非ご参加下さい。

対象：就学前の自閉症スペクトラム

障害(広汎性発達障害、アスペルガー症候群を含む)を持つお子様の保護者

日程：

①平成二十六年十二月五日(金)

「基本的な理解と

コミュニケーション」

小児科医 塩永 淳子

②平成二十七年一月十六日(金)

「特性の捉え方と対応」

作業療法士 斉藤 瑞穂

時間：十時～十一時半

場所：アリーナ棟

申し込み：

申し込み用紙にて事前の申し込みをお願いします。申し込み用紙を受付、または療育の担当者へお渡し下さい。

〆切り：十一月二十九日(土)

料金、託児に関してはお子さまの所属により変わりますので、案内用紙にてご確認ください。

みなさまのご参加をお待ちしています。(研修委員 斉藤)

こぐま餅つき大会の
ご案内

今年も餅つき大会の季節がやって来ました！

日程：十二月十四日(日)

時間：十時～十三時三十分

場所：こぐま福祉会 園庭

参加費：無料

※雨天決行です。

※きな粉もち、大根もち、

ぜんざい等があります。



自分でついたお餅をその場で、食べられます♪子どもたちに、日本古来の伝統的な行事を体験してもらい、伝承してゆきましょう。

ご家族お揃いで是非ご参加下さい！

(もちつき係 牟田いづみ)

十一月行事予定

一日(土) ベあくらぶ

スポーツ大会

十八日(火) 避難訓練

〈交流保育〉

十一日(火) 天使幼稚園

十九日(水) 三国保育所

二十日(木) 五条保育所

二十五日(火) 味坂保育園